

Russell/Nomura 日本株インデックス パフォーマンス・レビュー

2008年4月は、大型・バリューが市場を牽引

Russell/Nomura Prime 指数（米ドル建て）は前月比+6.89%であった。10カ月ぶりに全スタイルがプラスのリターンとなった。リビジョン・インデックスは先月よりさらに低下して-35.10となった。

- ▶ 【大型・バリューが有効】2008年4月の Russell/Nomura Prime 指数(米ドル建て)は、前月比+6.89%の上昇を示した。Russell/Nomura Small Cap 指数と Russell/Nomura Large Cap 指数のリターン・スプレッド(円建て)は-6.11%となり大型優勢の結果が見られた。Russell/Nomura Total Value 指数と Russell/Nomura Total Growth 指数のリターン・スプレッド(円建て)は+1.50%となり、バリュー優位の結果を示している。
- ▶ 【リビジョン・インデックスは-35.10】個別銘柄の業績修正動向を示すリビジョン・インデックスは先月よりさらに低下して-35.10となり、6カ月連続でマイナスとなった。
- ▶ 【銀行業のパフォーマンスが良好】Russell/Nomura Prime 指数における業種別月次リターンでは銀行業が最上位であった。次いで、不動産業、その他金融業が高い月次リターンを示した。
- ▶ 【三菱 UFJ フィナンシャルグループ (8306) など銀行株の寄与度が高い】Russell/Nomura Prime 指数構成銘柄で見た寄与度ランキングでは、三菱 UFJ フィナンシャルグループ (8306) が最上位、次いでみずほフィナンシャルグループ (8411) など銀行業の銘柄が上位を占めた。

スタイル別月次ランキング(円建て・配当込み)

順位	200504	200505	200506	200507	200508	200509	200510	200511	200512	200601	200602	200603
1	小型 -2.77	コア 2.49	小型 4.18	小型 3.25	割安 6.42	割安 13.04	小型 5.71	成長 8.65	小型 10.19	割安 4.67	割安 -1.11	小型 5.51
2	コア -4.28	成長 1.87	市場 2.90	成長 2.25	コア 6.13	コア 12.99	割安 2.44	コア 7.48	成長 9.32	コア 4.42	コア -1.17	成長 4.82
3	市場 -4.31	割安 1.77	割安 2.76	市場 2.21	市場 5.67	市場 12.01	市場 2.09	市場 6.63	市場 7.40	市場 3.71	市場 -2.58	市場 4.73
4	成長 -4.45	市場 1.62	成長 2.70	コア 2.11	成長 5.60	成長 11.90	コア 1.08	小型 5.67	コア 6.35	成長 3.06	成長 -2.89	割安 4.33
5	割安 -4.50	小型 -0.18	コア 2.31	割安 1.88	小型 2.49	小型 7.73	成長 0.77	割安 5.00	割安 4.61	小型 2.86	小型 -6.87	コア 4.18
順位	200604	200605	200606	200607	200608	200609	200610	200611	200612	200701	200702	200703
1	コア 0.38	割安 -7.54	コア 1.55	コア 0.95	小型 4.77	成長 -0.85	コア 1.61	コア -0.50	コア 5.91	割安 3.47	割安 2.98	割安 -1.00
2	割安 0.17	市場 -7.90	成長 1.14	割安 -0.24	成長 4.11	市場 -0.97	成長 1.09	成長 -0.60	割安 5.46	小型 3.06	コア 1.99	小型 -1.41
3	市場 -0.70	成長 -7.94	市場 0.61	成長 -0.56	市場 4.07	割安 -1.08	市場 0.61	市場 -0.80	成長 5.03	コア 2.57	市場 1.78	市場 -1.60
4	成長 -1.20	コア -8.03	割安 0.53	市場 -0.91	コア 3.86	小型 -1.25	割安 0.56	割安 -0.88	市場 4.99	市場 2.39	市場 1.09	コア -1.94
5	小型 -2.07	小型 -9.24	小型 -1.44	小型 -5.44	割安 3.82	コア -1.32	小型 -1.49	小型 -1.69	小型 3.10	成長 1.22	成長 0.82	成長 -2.23
順位	200704	200705	200706	200707	200708	200709	200710	200711	200712	200801	200802	200803
1	成長 -0.13	コア 5.16	小型 2.12	小型 -3.58	成長 -4.48	割安 1.63	小型 1.91	コア -5.15	割安 -2.52	割安 -7.66	成長 -0.63	小型 -4.06
2	市場 -0.67	成長 4.06	成長 1.46	成長 -3.65	市場 -5.53	コア 1.50	市場 0.29	成長 -5.23	コア -3.28	小型 -8.67	小型 -1.08	市場 -7.58
3	コア -0.94	市場 3.25	市場 1.19	市場 -3.87	コア -5.94	成長 1.25	成長 0.18	市場 -5.44	市場 -3.49	コア -8.76	コア -1.33	成長 -7.85
4	小型 -0.97	割安 3.25	割安 0.72	コア -4.10	割安 -6.30	市場 1.22	割安 -0.06	割安 -5.44	成長 -4.03	市場 -9.12	市場 -1.49	割安 -8.47
5	割安 -1.25	小型 -0.04	コア 0.65	割安 -4.15	小型 -7.20	小型 -0.48	コア -0.27	小型 -6.48	小型 -4.70	成長 -10.7	割安 -2.39	コア -9.12
順位	200804	投資スタイルと対応指数										
1	コア 15.19	市場	Russell/Nomura Prime									
2	割安 13.93	コア	Russell/Nomura Top Cap									
3	市場 11.93	割安	Russell/Nomura Large Cap Value									
4	成長 11.56	成長	Russell/Nomura Large Cap Growth									
5	小型 6.62	小型	Russell/Nomura Small Cap									

(注) リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村證券金融工学研究センター

2008年5月2日
クオンツレポート

カテゴリー

インデックス・リサーチ

野村證券
金融工学研究センター

片山 智代
田村 浩道

03-3274-1079

katayama-1q31@jp.nomura.com

野村證券株式会社 金融工学研究センター 〒100-8130 東京都千代田区大手町2-2-2 アーバンネット大手町ビル

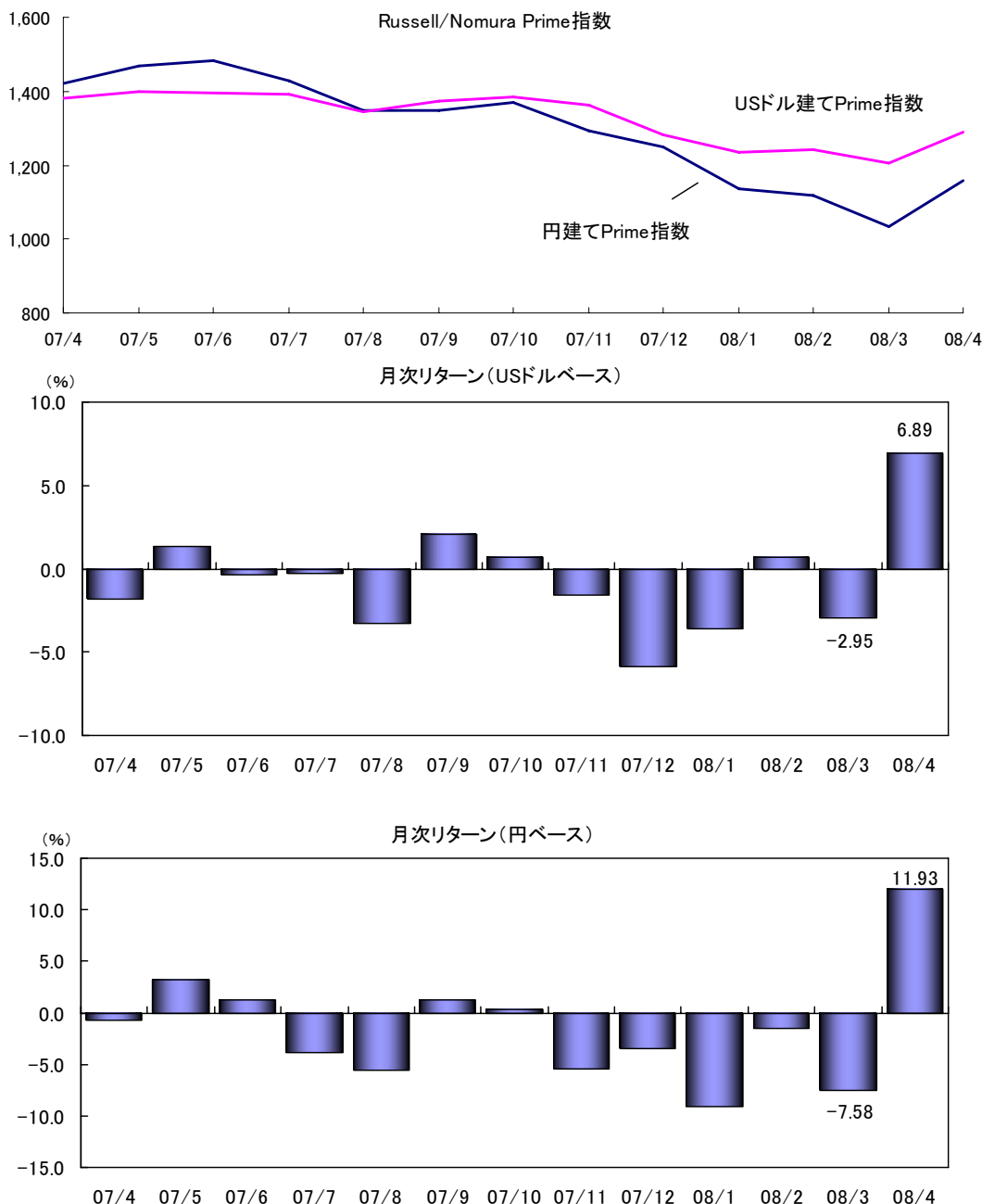
このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村證券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村證券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村證券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村證券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村證券に帰属しており、電子的または機械的方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

1. Russell/Nomura 日本株インデックスパフォーマンス概況

08年4月のPrime指数(米ドル建て)は、+6.89%の上昇

2008年4月における、日本株式市場の動きを示す Russell/Nomura Prime 指数(米ドル建て)は前月比+6.89%の上昇となった。この上昇率は2006年1月以降最大である。円建てベースでは、前月比+11.93%の上昇であった。2008年4月末時点の為替レート(月末終値、出所：日本銀行)は2008年3月末時点の99.37円から、104.05円となった。

図表1 Russell/Nomura Prime 指数月次パフォーマンス



(注) リターンは配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

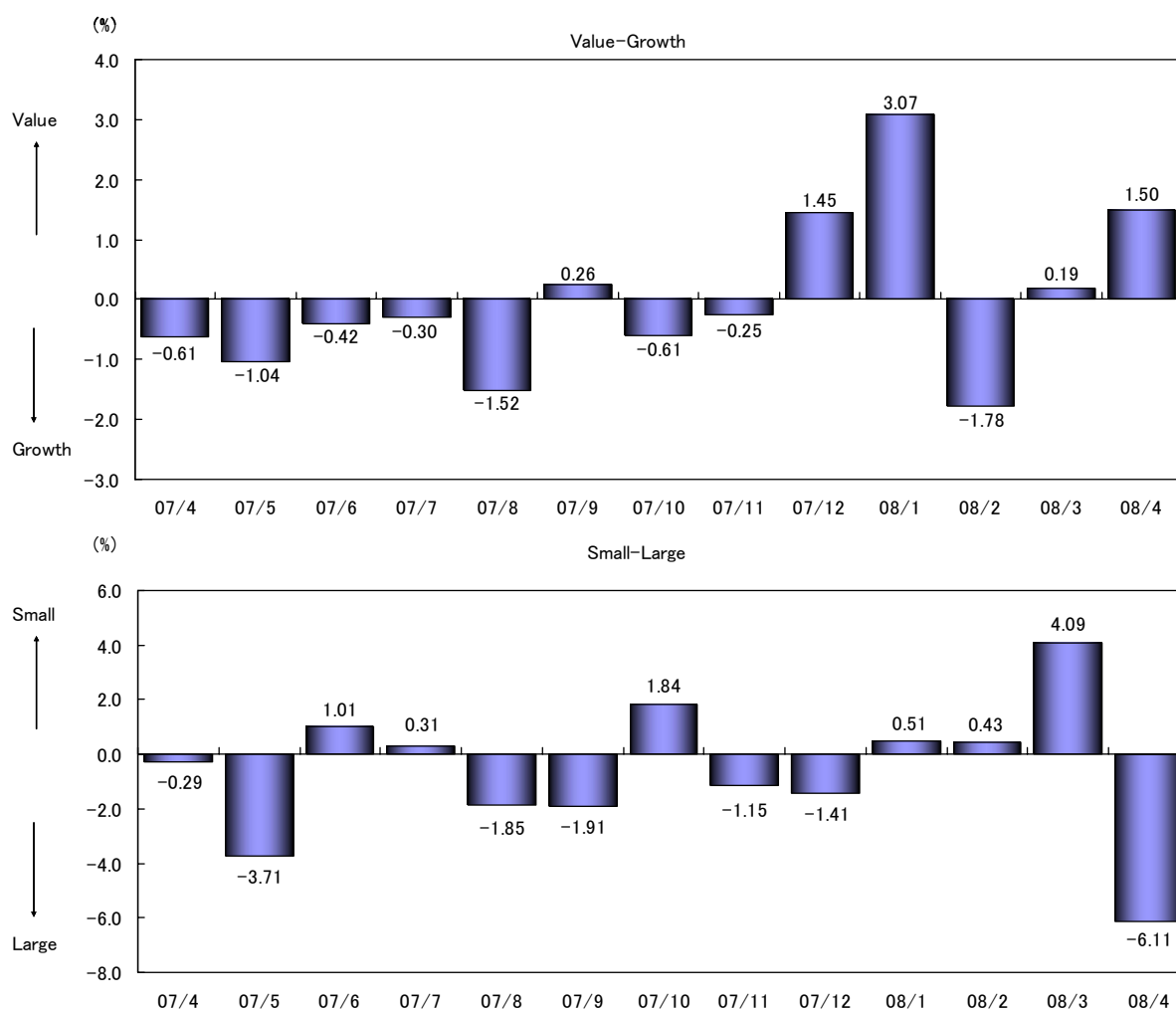
このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします

大型・バリューが優勢

図表2は、スタイル別のリターン・スプレッド(円建て)の月次推移を示している。また、図表3は、市場、コア(時価総額上位50%以上)、割安(大型・バリュー株)、成長(大型・グロース株)、小型といった5つのスタイル区分による月次リターン(円建て)のランキングを表している。

2008年4月のスタイル別のパフォーマンスでは、10カ月ぶりに全スタイルがプラスとなった。その中でも特にコア(時価総額上位50%以上)や割安(大型・バリュー株)のパフォーマンスが良好であった(図表3)。バリュー株とグロース株のリターン・スプレッドは、+1.50%となり、バリュー株優位の結果を示した(図表2)。小型・大型の比較で見ると、大型株が+12.73%であったのに対し、小型株は+6.62%に留まった。これより小型株と大型株のリターン・スプレッドは-6.11%となり3カ月続いた小型優位の状況から大型優位に転じる結果となった。この大型優位の水準は、モニター開始以降(2005年2月以降)最大である。

図表2 リターン・スプレッドの月次推移



(注) Value-GrowthはValueとGrowthのリターンの差、Small-LargeはSmallとLargeのリターンの差である。

リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

図表3 スタイル別月次ランキング(円建て・配当込み)

順位	200504	200505	200506	200507	200508	200509	200510	200511	200512	200601	200602	200603
1	小型 -2.77	コア 2.49	小型 4.18	小型 3.25	割安 6.42	割安 13.04	小型 5.71	成長 8.65	小型 10.19	割安 4.67	割安 -1.11	小型 5.51
2	コア -4.28	成長 1.87	市場 2.90	成長 2.25	コア 6.13	コア 12.99	割安 2.44	コア 7.48	成長 9.32	コア 4.42	コア -1.17	成長 4.82
3	市場 -4.31	割安 1.77	割安 2.76	市場 2.21	市場 5.67	市場 12.01	市場 2.09	市場 6.63	市場 7.40	市場 3.71	市場 -2.58	市場 4.73
4	成長 -4.45	市場 1.62	成長 2.70	コア 2.11	成長 5.60	成長 11.90	コア 1.08	小型 5.67	コア 6.35	成長 3.06	成長 -2.89	割安 4.33
5	割安 -4.50	小型 -0.18	コア 2.31	割安 1.88	小型 2.49	小型 7.73	成長 0.77	割安 5.00	割安 4.61	小型 2.86	小型 -6.87	コア 4.18
順位	200604	200605	200606	200607	200608	200609	200610	200611	200612	200701	200702	200703
1	コア 0.38	割安 -7.54	コア 1.55	コア 0.95	小型 4.77	成長 -0.85	コア 1.61	コア -0.50	コア 5.91	割安 3.47	割安 2.98	割安 -1.00
2	割安 0.17	市場 -7.90	成長 1.14	割安 -0.24	成長 4.11	市場 -0.97	成長 1.09	成長 -0.60	割安 5.46	小型 3.06	コア 1.99	小型 -1.41
3	市場 -0.70	成長 -7.94	市場 0.61	成長 -0.56	市場 4.07	割安 -1.08	市場 0.61	市場 -0.80	成長 5.03	コア 2.57	市場 1.78	市場 -1.60
4	成長 -1.20	コア -8.03	割安 0.53	市場 -0.91	コア 3.86	小型 -1.25	割安 0.56	割安 -0.88	市場 4.99	市場 2.39	小型 1.09	コア -1.94
5	小型 -2.07	小型 -9.24	小型 -1.44	小型 -5.44	割安 3.82	コア -1.32	小型 -1.49	小型 -1.69	小型 3.10	成長 1.22	成長 0.82	成長 -2.23
順位	200704	200705	200706	200707	200708	200709	200710	200711	200712	200801	200802	200803
1	成長 -0.13	コア 5.16	小型 2.12	小型 -3.58	成長 -4.48	割安 1.63	小型 1.91	コア -5.15	割安 -2.52	割安 -7.66	成長 -0.63	小型 -4.06
2	市場 -0.67	成長 4.06	成長 1.46	成長 -3.65	市場 -5.53	コア 1.50	市場 0.29	成長 -5.23	コア -3.28	小型 -8.67	小型 -1.08	市場 -7.58
3	コア -0.94	市場 3.25	市場 1.19	市場 -3.87	コア -5.94	成長 1.25	成長 0.18	市場 -5.44	市場 -3.49	コア -8.76	コア -1.33	成長 -7.85
4	小型 -0.97	割安 3.25	割安 0.72	コア -4.10	割安 -6.30	市場 1.22	割安 -0.06	割安 -5.44	成長 -4.03	市場 -9.12	市場 -1.49	割安 -8.47
5	割安 -1.25	小型 -0.04	コア 0.65	割安 -4.15	小型 -7.20	小型 -0.48	コア -0.27	小型 -6.48	小型 -4.70	成長 -10.7	割安 -2.39	コア -9.12
順位	200804	投資スタイルと対応指数										
1	コア 15.19	市場	Russell/Nomura Prime									
2	割安 13.93	コア	Russell/Nomura Top Cap									
3	市場 11.93	割安	Russell/Nomura Large Cap Value									
4	成長 11.56	成長	Russell/Nomura Large Cap Growth									
5	小型 6.62	小型	Russell/Nomura Small Cap									

(注) 単位は%。リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

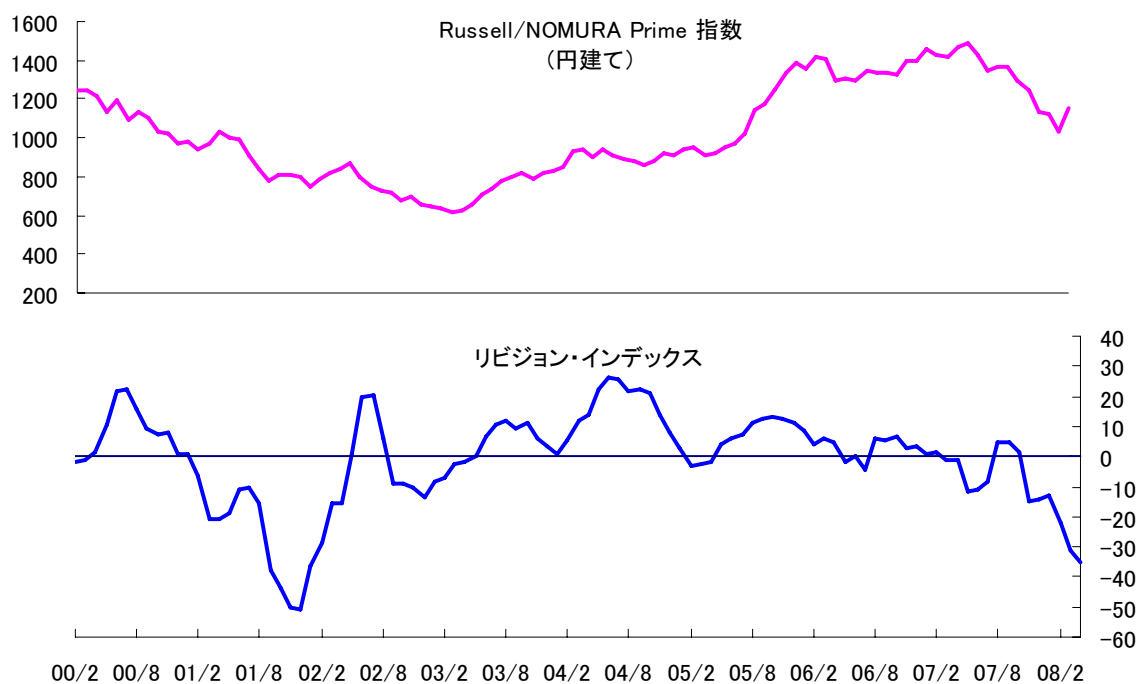
(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送を行わないようお願いいたします。

リビジョン・インデックスは-35.10と、6カ月連続でマイナス

Russell/Nomura Total Market 指数を構成する銘柄の業績修正動向を示すリビジョン・インデックスを見ると（図表4）、2008年4月は先月よりさらに低下し、-35.10となった。上方修正銘柄数が271銘柄、下方修正銘柄数は754銘柄となり、これで6カ月連続上方修正の銘柄数が下方修正銘柄数を下回る結果となった。

図表4 リビジョン・インデックスとパフォーマンス



	リビジョン インデックス	上方修正 銘柄数	下方修正 銘柄数
2008年04月	-35.10	271	754
2008年03月	-31.44	277	719

（注）リビジョン・インデックスとは、（上方修正銘柄数－下方修正銘柄数）／有効銘柄数×100で算出される業績の修正動向を示す指数である。2008年4月の有効銘柄数は1,376銘柄。業績予想は野村及び東洋経済が予想する連結・経常利益を用いている。ここでは、母集団をRussell/Nomura Total Market 指数に含まれる全銘柄とし、月次の業績修正に基づいて算出している。
（出所）野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

2. 業種別パフォーマンス・レビュー

銀行業、不動産業、その他金融業のパフォーマンスが良好

2008年4月は、Prime 指数において、多くの業種で10%以上のパフォーマンスの改善が見られた。特に銀行業のパフォーマンスが大きく改善し、前月比の月次リターンは+27.95%であった。次いで、不動産業(+26.19%)、その他金融業(+25.57%)の月次リターンが高かった。一方、パフォーマンスが悪化したのは、3月唯一プラスの月次リターンを示した空運業(-6.31%)と電気・ガス業(-0.80%)のみであった(図表5)。

図表 5. Russell/Nomura 業種別パフォーマンス(上位・下位 10 業種)

指数	Prime	11.93	Large Value	13.93	Large Growth	11.56	Small	6.62
上位業種	Prime		Large Value		Large Growth		Small	
	1 銀行業	27.95	不動産業	38.11	その他金融業	35.38	その他金融業	26.97
	2 不動産業	26.19	銀行業	30.61	銀行業	34.13	保険業	22.14
	3 その他金融業	25.57	保険業	24.04	不動産業	28.79	石油・石炭製品	16.20
	4 保険業	23.22	証券・商品先物取引業	20.86	金属製品	21.15	水産・農林業	15.41
	5 証券・商品先物取引業	19.97	その他金融業	17.63	証券・商品先物取引業	20.69	証券・商品先物取引業	15.18
	6 鉄鋼	17.89	小売業	17.24	鉄鋼	19.29	鉄鋼	11.26
	7 水産・農林業	16.36	石油・石炭製品	15.40	ゴム製品	19.24	ゴム製品	10.92
	8 電気機器	14.67	金属製品	15.25	機械	15.72	機械	10.92
	9 機械	14.63	機械	14.84	電気機器	15.44	不動産業	9.24
10 石油・石炭製品	14.56	電気機器	14.83	卸売業	14.12	銀行業	8.88	
下位業種	Prime		Large Value		Large Growth		Small	
	1 空運業	-6.31	空運業	-7.06	空運業	-5.95	ガラス・土石製品	-2.04
	2 電気・ガス業	-0.80	電気・ガス業	-0.92	電気・ガス業	-0.19	医薬品	1.00
	3 食料品	0.76	食料品	0.03	食料品	0.16	情報・通信業	1.87
	4 陸運業	1.34	その他製品	1.01	陸運業	0.45	その他製品	1.88
	5 繊維製品	3.26	倉庫・運輸関連業	1.14	繊維製品	1.22	陸運業	2.32
	6 情報・通信業	3.49	繊維製品	2.93	サービス業	1.68	食料品	2.66
	7 サービス業	3.56	陸運業	3.94	情報・通信業	3.41	パルプ・紙	3.69
	8 倉庫・運輸関連業	4.47	情報・通信業	4.18	鉱業	4.50	サービス業	4.11
	9 鉱業	4.71	サービス業	5.33	建設業	4.71	精密機器	4.19
10 パルプ・紙	5.64	精密機器	5.70	小売業	5.80	倉庫・運輸関連業	4.35	

(注) 単位は (%)。リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

3. 個別銘柄パフォーマンス・レビュー

寄与度上位は、銀行業の銘柄が占める

個別銘柄の各指数へのパフォーマンス寄与度をランキングし、その結果に基づき、上位・下位5社を示したのが図表6である。なお、月次リターンは、円建てベースで示した。

Russell/Nomura Prime 指数を構成する銘柄のうち、三菱UFJフィナンシャルグループ(8306)が+0.892%と最も高い寄与度を示した。同銘柄の月次リターンは前月比+33.02%となった。次いで高い寄与度を示したのは、みずほフィナンシャルグループ(8411)で+0.592%、三井住友フィナンシャルグループ(8316)で+0.573%であった。これらの銘柄は銀行業や Russell/Nomura Top Cap 指数、Russell/Nomura Large Cap Value 指数のパフォーマンス改善にも大きな影響を与えている。一方、マイナスの寄与度が大きかったのは、ヤフー(4689)で-0.034%、月次リターンは前月比-11.10%であった。

図表6 個別銘柄パフォーマンス寄与度上位・下位5社

Prime: 11.93%				Top: 15.19%			
		寄与度(%)	リターン(%)			寄与度(%)	リターン(%)
上位銘柄	1	8306 三菱UFJフィナンシャルグループ	0.892	33.02	8306 三菱UFJフィナンシャルグループ	1.719	33.02
	2	8411 みずほフィナンシャルグループ	0.592	47.95	8411 みずほフィナンシャルグループ	1.141	47.95
	3	8316 三井住友フィナンシャルグループ	0.573	36.43	8316 三井住友フィナンシャルグループ	1.104	36.43
	4	6758 ソニー	0.312	20.40	6758 ソニー	0.601	20.40
	5	7751 キヤノン	0.264	13.29	7751 キヤノン	0.509	13.29
下位銘柄	1	4689 ヤフー	-0.034	-11.10	4568 第一三共	-0.040	-2.89
	2	4568 第一三共	-0.021	-2.89	9502 中部電力	-0.025	-2.21
	3	9532 大阪瓦斯	-0.019	-7.04	9501 東京電力	-0.016	-0.75
	4	9202 全日本空輸	-0.017	-7.06	9022 東海旅客鉄道	-0.011	-0.97
	5	4911 資生堂	-0.015	-5.31	4452 花王	-0.005	-0.53

Large-V: 13.93%				Large-G: 11.56%				Small: 6.62%			
		寄与度(%)	リターン(%)			寄与度(%)	リターン(%)			寄与度(%)	リターン(%)
上位銘柄	1	8306 三菱UFJフィナンシャルグループ	2.104	33.02	7751 キヤノン	0.609	13.29	8593 三菱UFJリソース	0.135	46.97	
	2	8411 みずほフィナンシャルグループ	1.290	47.95	5411 ジェイ エフ イー ホールディング	0.580	28.96	8572 アコム	0.091	21.74	
	3	8316 三井住友フィナンシャルグループ	0.924	36.43	8802 三菱地所	0.549	24.79	8515 アイフル	0.075	27.42	
	4	6758 ソニー	0.736	20.40	8031 三井物産	0.500	20.79	6041 ポッシュ	0.074	47.41	
	5	7267 本田技研工業	0.544	15.99	7974 任天堂	0.493	11.09	5444 大和工業	0.073	22.39	
下位銘柄	1	9532 大阪瓦斯	-0.046	-7.04	4689 ヤフー	-0.079	-11.10	2282 日本ハム	-0.043	-9.51	
	2	9502 中部電力	-0.030	-2.21	4568 第一三共	-0.038	-2.89	7915 日本写真印刷	-0.034	-12.07	
	3	9506 東北電力	-0.026	-3.08	4911 資生堂	-0.034	-5.31	4506 大日本住友製薬	-0.032	-12.84	
	4	9202 全日本空輸	-0.024	-7.06	4307 野村総合研究所	-0.034	-11.90	6222 島精機製作所	-0.031	-12.23	
	5	9508 九州電力	-0.024	-3.08	9205 日本航空	-0.025	-5.41	2784 アルフレッサ ホールディングス	-0.031	-6.90	

(注) リターンは円建て・配当込みのものである。

寄与度とは前月末インデックス内構成ウエイト×月次リターン(%)で算出される値。

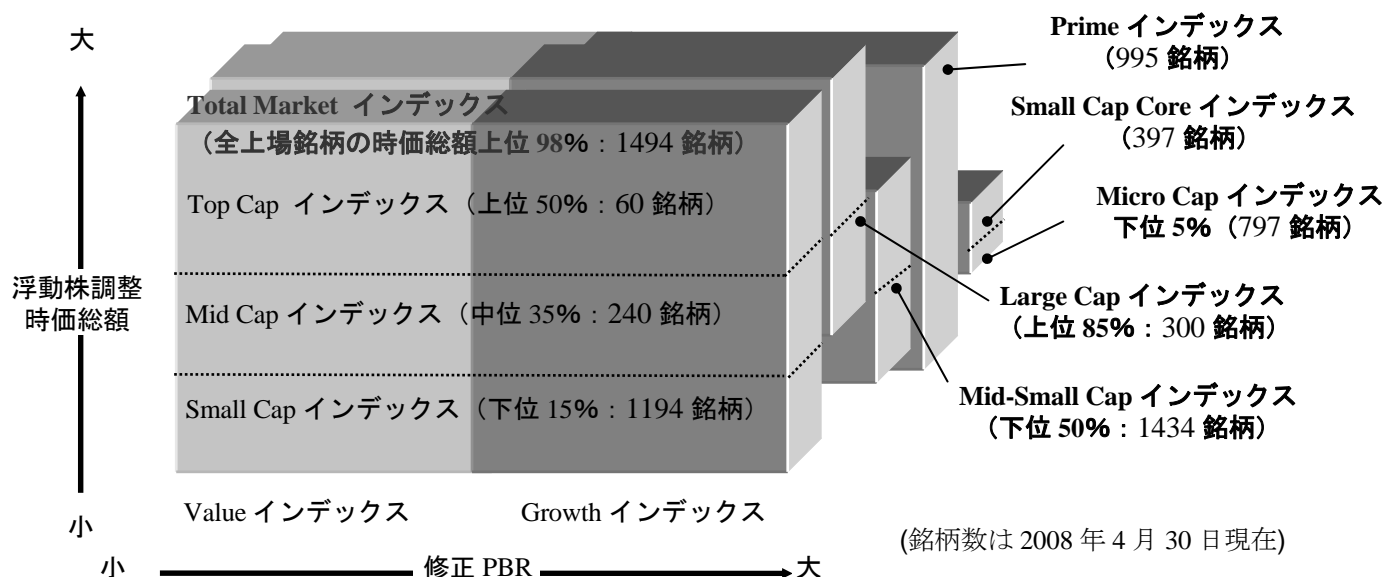
(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

Q&A Russell/Nomura 日本株インデックスについて

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスって何ですか？

A: Russell/Nomura 日本株インデックスは米国、フランクラッセルカンパニーと野村証券金融工学研究センターが共同開発した日本株式投資スタイルベンチマークです。



この他に 33 業種別インデックス (Total Market、規模別、Value、Growth、Prime) も用意されております。なお、規模別インデックスの分類指標は、安定持ち株控除後の時価総額です。Value/Growth インデックスの分類指標は、自己資本の含みを修正した修正 PBR です。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのルールブックはどこにありますか？

A: http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/docs/RN_rule200707.pdf
をご覧ください。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのデータを見たいのですが、どこで公表していますか？

A: 以下の情報端末でご覧いただけます。

Bloomberg	: RNJI
時事通信	: SQ21、SQ22、SQ23、SQ24
QUICK	: NRIJ500~504、510~517
REUTERS	: FRCNRI01、FRCNRI02、FRCNRI03、FRCNRI04
INTERNET	: http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html

なお、<http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html> からは、最新のインデックスリターン、構成銘柄、構成銘柄の変更などがご覧いただけます。

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのデータが欲しいのですが？

A: インデックスリターン、インデックス個別銘柄時価総額ウェイト、個別銘柄情報については、<http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html> からダウンロードできます。QUICK、REUTERS、Bloomberg においても一部に限られますが、データを取得できます。それ以外に関しましては、下記の連絡先にお問い合わせください。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスについて英語の資料が欲しいのですが？

A: <http://qr.nomura.co.jp/en/frcnri/index.html> をご覧ください。

上記以外の Russell/Nomura 日本株インデックスに関するお問い合わせ先

徳野 明洋・平野 由美子：idx_mgr@frc.nomura.co.jp

電 話：03(3274)0924

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村證券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村證券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村證券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村證券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村證券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします

当社で取り扱う商品等へのご投資には、各商品等に所定の手数料等（国内株式取引の場合は約定代金に対して最大 1.365%（税込み）（20 万円以下の場合は、2,730 円（税込み））の売買手数料、投資信託の場合は銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等）をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失が生じるおそれがあります。商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

国内株式の売買取引には、約定代金に対し最大 1.365%（税込み）（20 万円以下の場合は 2,730 円（税込み））の売買手数料をいただきます。国内株式を相対取引（募集等を含む）によりご購入いただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。ただし、相対取引による売買においても、お客様との合意に基づき、別途手数料をいただくことがあります。国内株式は株価の変動により損失が生じるおそれがあります。

外国株式の売買取引には、売買金額（現地約定金額に現地手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対し最大 0.9975%（税込み）（売買代金が 75 万円以下の場合は最大 7,455 円（税込み））の国内売買手数料をいただきます。外国の金融商品市場での現地手数料や税金等は国や地域により異なります。外国株式を相対取引（募集等を含む）によりご購入いただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。ただし、相対取引による売買においても、お客様との合意に基づき、別途手数料をいただくことがあります。外国株式は株価の変動および為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。

信用取引には、売買手数料（約定代金に対し最大 1.365%（税込み）（20 万円以下の場合は 2,730 円（税込み）））、管理費および権利処理手数料をいただきます。加えて、買付の場合、買付代金に対する金利を、売付けの場合、売付け株券等に対する貸株料および品貸料をいただきます。委託保証金は、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の額が必要です。信用取引では、委託保証金の約 3.3 倍までのお取引を行うことができるため、株価の変動により委託保証金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。詳しくは、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、等をよくお読みください。

野村證券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第 142 号

加入協会／日本証券業協会、（社）投資信託協会、（社）日本証券投資顧問業協会、（社）金融先物取引業協会

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村證券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村證券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村證券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村證券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村證券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします

< NOMURA Global Quantitative Research >

< 東 京 > 野村証券 金融工学研究センター

東京都千代田区大手町 2-2-2 アーバンネット大手町ビル

Tel: (81) 3-3274-0924

Fax: (81) 3-3274-0089

< ロンドン > Nomura International plc

Quantitative Research Department

1 St Martin's-le-Grand, London EC1A 4NP, UNITED KINGDOM

Tel: (44) 20-7521-2000

Fax: (44) 20-7521-3676

< ニューヨーク > Nomura Securities International, Inc.

Quantitative Research Department

2 World Financial Center, Building B, New York, NY 10281-1198, USA

Tel: (1) 212-667-9300

Fax: (1) 212-667-1058

< 香 港 > Nomura International (Hong Kong) Limited

Asia Research Division

Asia Quantitative Research Department

30/F Two International Finance Centre, 8 Finance Street, Central, Hong Kong

Tel: (852) 2536-1111

Fax: (852) 2536-1786